

## 研究課題名 IgGの糖鎖解析による慢性炎症性疾患診断法の開発（15396）

### ① 研究の目的

慢性炎症性疾患の確実な原因は明らかになっていませんが、免疫系（からだを体外の異物から守るシステム）の異常が関係している想定されています。古くから慢性炎症性疾患の一つである慢性関節リウマチでは、免疫グロブリン（抗体）の糖鎖に異常があることが知られています。私たちは、この糖鎖の異常は慢性関節リウマチだけでなく、多くの慢性疾患でも見られること、そしてその糖鎖異常が慢性疾患の活動性の指標になることを発見しました。しかし、これまでの糖鎖解析の検査法では時間と多くの費用がかかるため、多検体処理可能な実際の臨床診断には使えません。そこで皆様方の血液中に存在する抗体を使って、新しい診断キットを作成することを本研究の目的としています。

### ② 研究期間

研究機関の長の許可日 ～ 西暦 2029 年 11 月 30 日

### ③ 試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む）および、利用し、または提供する試料・情報の項目

大阪南医療センターの CARF 陽性リウマチ患者と阪大病院関連の炎症性腸疾患患者血清はすでに 500 例以上の保存血清があるため、その中から任意に 300 例を抽出して検討します。検体、臨床情報については大阪大学で解析を行います。検体、臨床情報の送付の際は氏名を含む個人情報記録しない状態で送ります（匿名化といいます）。臨床情報には年齢、性別、体格、血液検査結果が含まれます。

### ④ 利用する者の範囲

本研究で得られたデータについては大阪大学で利用します。また、本研究に沿う新たな研究計画に2次利用する可能性があります。

### ⑤ 試料・情報の管理についておよび、責任を有する者の氏名または名称

臨床データ・その他の情報はすべて匿名化を行い、これに関わる個人情報は、個人情報管理者によって厳重に管理されます。試料・情報の管理は下記のもの（鎌田佳宏）が行います。研究成果の発表時を含め、外部に公開されることは一切ありません。

この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。ご自身の検査結果などの研究使用をご承諾いただけない場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

### ⑥ 研究体制

研究責任者

大阪大学大学院医学系研究科生体病態情報科学・教授 三善英知

住所：〒565-0871 吹田市山田丘 1-7

Tel & Fax: 06-6879-2590

研究分担者

大阪大学大学院医学系研究科生体物理工学講座・教授 鎌田佳宏

大阪大学大学院医学系研究科生体病態情報科学・准教授 近藤純平

大阪大学大学院医学系研究科消化器内科学・助教 良原丈夫

兵庫医科大学 消化器内科学・教授 新崎信一郎

大阪警察病院・副院長 飯島英樹

国立病院機構大阪南医療センター整形外科・部長 橋本 淳

ミナリスメディカル株式会社・研究員 椎田真史